


令和3年5月20日から
 ひなんしじ
 警戒レベル 4 **避難指示で必ず避難**

お問い合わせ先
 **那珂川市**
 市民生活部 安全安心課
 092-953-2211

あなたがとるべき「避難」行動は？

~日ごろから確認！~

STEP 1

那珂川市総合防災マップの「水害・土砂災害ハザードマップ (P.5~P.52)」で
 ご自宅を確認しましょう。
 ※那珂川市ホームページからも確認できます。
https://www.city.nakagawa.lg.jp/hazard_map/
 ご自宅に色が塗られていますか？
 (浸水想定区域、土砂災害警戒区域等ではないですか?)



NO
 ※色が塗られてなくても、
 市からの避難情報を参考に、
 必要に応じて避難してください。

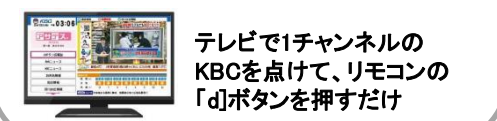
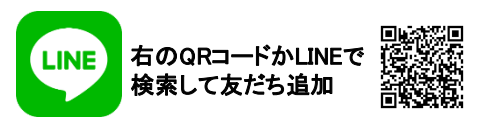


YES
 浸水想定区域です



YES
 土砂災害警戒区域です

防災情報は那珂川市LINE公式アカウントか
 dボタン広報紙でチェック！

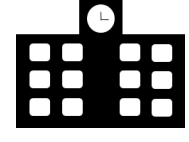


※警戒レベルと避難情報は裏面をご覧ください。

STEP 3

安全な場所に住んでいて、身を寄せられる親戚や知人はいますか？


YES
Action 1
安全な親戚・知人宅等へ避難！


NO
Action 2
市が指定する緊急避難場所へ避難！


災害の危険があるので、
 原則として、安全な場所への『立退き避難』が必要です。
 ※普段から、避難先や避難経路、避難手段や情報の入手方法について、
 再度確認しておきましょう。

STEP 2

※浸水時の例外
 ※浸水の危険があっても、「3つの条件」が確認できれば、自宅に
 留まり、『屋内安全確保』で難を逃れることができます。
 例: ①浸水深より居室が高い場合
 ②家屋倒壊等氾濫区域でない場合
 ③水が引くまで我慢でき、水や食糧の準備が十分な場合など
 ※詳しくは裏面をご覧ください。

ご自身または一緒に避難する方は、
 避難に時間がかかりますか？


YES
 警戒レベル 3
 こうれいしゃとうひなん
**高齢者等避難
 で避難**

NO
 警戒レベル 4
 ひなんしじ
**避難指示
 で避難**

令和3年5月20日から

ひなんしじ

避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル
4

警戒レベル	新たな避難情報等
5	 <p>災害発生 又は切迫</p> <p>きんきゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1</p>
4	 <p>災害の おそれ高い</p> <p>ひなんしじ 避難指示※2</p>
3	 <p>災害の おそれあり</p> <p>こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3</p>
2	 <p>気象状況悪化</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>今後気象状況悪化のおそれ</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>

これまでの避難情報等

- 災害発生情報
(発生を確認したときに発令)
- ・避難指示(緊急)
・避難勧告
- 避難準備・
高齢者等避難開始
- 大雨・洪水・高潮注意報
(気象庁)
- 早期注意情報
(気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
**警戒レベル5緊急安全確保の
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。
これからは、
警戒レベル4避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。

避難に時間のかかる
**高齢者や障害のある人は、
警戒レベル3高齢者等避難**で
危険な場所から避難
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

ひなん
「避難」って
何すれば
いいの?

小中学校や公民館に行くことだけ
が避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。
下の4つの行動があります。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると...)
- 浸水深より居室は高い
- 水がひくまで我慢でき、
水・食糧などの備えが十分
(十分じゃないと...)

※1 家屋倒壊等氾濫想定区域や2 水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。